

保育・ベビーシッター参入

共同働きやすい環境提供

コンビナートプラント関連事業の共同（本社四日市市あがたが丘3の30の7、石垣龍生社長、電話059・326・2355）は、新規事業として保育およびベビーシッター事業に参入する。自社や関連企業の社員に働きやすい環境を提供、将来を担う子供や親の育成支援などがねらい。同市浜田町6の11・サムティ四日市ビル1階に施設を開設、12月中旬にオープンする。

（四日市・横井清）

景気低迷で受注工事げ、10月に認可外の事業が減少する中、新規事業所内保育所の設置を申請。同氏が施設長となることができる模索する。また「安保育園アネクレン」の心して働き、子育てができる環境作りに、少午後6時（延長は午後8時）まで、生後3か月から6歳児を保育する。定員は20人。保育士は6人。

今年9月に石垣和哉専務が主体となり、2つの事業部を立ち上り、企業などの家族のほ

どは別途必要。兄弟割引制度も設けている。

ベビーシッター事業は、急な子どもの病気や教員免許などの認定で困っている人を対象とした病児保育の一例。専門施設が無いため、登録制のベビーシッターを養成し紹介する。子どもを病院に連れて行き、その後は利用者の家庭か、シッターの家庭で保育する。

シッターは、保育士に準じていないため、当面は社員の家庭だけを預かり、試験オープンする方針。同社は「安心安全をモットーに、家庭的なくつろいだ雰囲気の中で、豊かな成長を見守ってほしい」と意欲を示している。

「四日市保育園アネクレン」を開設するテナントビル

2010年（平成22年）11月12日 金曜日

中部経済新聞